

## 授業計画（シラバス）

<b>■科 目</b>	<b>歯科衛生統計</b>	<b>■講師名</b>	田中 入
I 部 2 学年	中期	8 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 12 時間
		講義 1 単位	
<b>■学修概要</b>			
<p>いわゆる IT が社会に普及した結果、現代では各個人がパーソナル PC あるいはスマートフォンを 1 台または複数台保持する時代になっている。これらより得る情報はすべて機器データであり、その特性を正しく理解して適切な処理を行う能力は医療界でも必須である。そのため口腔保健に関する各種のデータを解析する知見を養うとともに、地域共生社会における地域包括システムの多職種連携に関する方法論を併せて学ぶ。</p>			
<b>■授業目的、到達目標</b>			
<p>歯科疾患の疫学的特性を理解し、臨床に応用できる力を身につける。また地域歯科保健で得たデータの活用方法について学び、統計学に基づく解析方法を習得してプレゼンテーションを実施する能力を養う。以って国家試験における正答率を向上させ、歯科衛生士として各種より得られた医学的統計データを十分に活用できる学識を修得する。</p>			
<b>■授業方法</b>			
<p>講義、板書ならびにスライド・動画などを活用する。また必要に応じて質疑応答を行い、正答した者には加点を行う。(ただし不正解でも減点は実施しない)</p>			
<b>■教科書（書籍名・出版社）</b>			
<p>最新歯科衛生士教本／歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 3 保健情報統計学 医歯薬出版</p>			
<b>■成績評価・講義上の注意</b>			
<p>本試験（論述筆記形式）、出席率、授業態度（私語・居眠り等）から総合評価する。なお筆記試験の採点には相対指数を採用する。</p>			
<b>■実務経験</b>			
<p>歯科医師の資格を取得してすぐに予防歯科学への道を進み、その概念に則した歯科臨床を 30 年以上継続している。歯学博士、日本口腔衛生学会専門医、埼玉県障害者歯科相談医も取得している。</p>			
<b>■授業計画（講義の流れ）</b>			
1	歯科領域における保健情報		
2	国が行う各種の保健統計		
3	疫学とその進め方		
4	歯科領域で用いられる各種の指数		
5	採取標本の分析手順		
6	データの推定と検定		
7	プレゼンテーション時のデータ表現方法		
8	定期試験、解答解説		